

二級河川月光川水系河川整備計画（素案）公聴会 議事要旨

日時：平成 29 年 12 月 22 日（金）

18 時 30 分～20 時 10 分

場所：遊佐町生涯学習センター 大会議室

○：住民からの意見・質問

●：事務局からの説明・回答

○：月光川では大きな岩や土砂が流下しているが、近年の浚渫工事の実績は？また、想定最大規模の出水に備え、浚渫を実施してほしい。

●：近年では H21 年度に月光橋上流で実施したと記憶している。現在は河川流下能力向上の 5 ヶ年計画に着手したところで、早期段階での実施を目指したい。

○：浚渫工事を実施する際には、サケ等の生物や環境への影響に配慮して実施時期を決定してほしい。

●：そのように対応したい。

○：護岸の整備にあたっては、多自然川づくり等、環境面に配慮して整備を進めてほしい。

●：考慮していきたいと考えている。

○：西通川は月光川と日向川の両方に流れ、遊佐の米を運ぶ運河として利用されていた歴史を持っており、教材としても有効ではないか。

●：小学校のカリキュラムの変更で防災教育も位置付けられる予定となっており、機会があれば取り入れてもらえるよう働きかけたい。

○：洗沢川合流点付近の堤防が低いと感じているが、津波等への対策は検討されているか。

●：県内の二級河川で津波遡上の影響を検討しており、月光川流域では被害が発生しない結果となっている。

○：具体的にいつ頃からどういった工事を実施予定であるのか。

●：整備計画が策定された後、現地調査等を実施し、詳細な検討をしていく予定である。

○：計画を見直すことでよいか、また、河床の掘削により、流速が変わる影響はないか。

●：小堤を作ることはせずに、掘削する計画としている。上下流で河床材料も異なっているため、洗掘防止対策についても詳細設計時に合わせて検討していく。

- ：ムクの木については、樹木医からも意見を聞いている。保護や土砂流出はしないようお願いしたい。
- ：いろいろな経緯や河川の特性を踏まえながら詳細設計で検討していきたい。

- ：S41年洪水で880mm/48hrとあるが、遊佐町が公表しているハザードマップと整合しないのではないかと。
- ：資料中の48時間雨量は単観測所の雨量であるため、ハザードマップで示されている流域平均雨量とは異なっている。

- ：ハザードマップを見る限り、遊佐町の役場付近で浸水が生じており、いざというときに防災面での活動が取れないのではないかと。
- ：県として示すのは浸水範囲までで、避難経路等については遊佐町で検討している。また、現在想定最大規模の浸水想定区域について県で検討している。

- ：そねた橋下流付近に家と畑があるが、水路の水が川に流れず困っている。
- ：現地を確認したい。

- ：JR橋梁の橋脚が補強されているが、河床掘削は可能か。
- ：橋脚の影響については、今後詳細設計で確認していく。

- ：集落の東側に神社があり、約10年前、堤防が一部決壊したことがある。掘削によって、更にエネルギーが増し護岸などがもたなくなるのではないかと。
- ：周辺の護岸や用地の状況を見ながら、影響を最小限に抑えるよう設計していきたい。

- ：火災や地震の発生時、消火活動に川の水を使用できるといった防災機能の整備も重要では？
- ：貴重なご意見として賜り、委員会にかけたい。

- ：上流部はダムまで計画するのか。
- ：今回の整備区間には含まれない。新朝日橋上流は砂防区域として整備済みとなっている。

- ：遊佐中学校対岸付近の石積について、以前補修したがまた藪になっているところがある。
- ：情報提供いただいたので現場を確認させてほしい。

- ：十日町付近まで浸水する恐れがあるので、流下能力が低いところや、JRの下流など法面処理を崩壊しないようにうまくやってほしい。
- ：ご意見やアドバイスを踏まえ、安全な施設整備を検討していきたい。

- ：U字溝が全く機能していない。江地付近では用地が確保されているが、管理されていないように感じる。
- ：U字溝の排水や、用地が確保されているところについては、これまでに整備した築堤区間と今後整備予定の掘りこみ区間の擦り付け区間として、有効に活用できるように検討していきたい。

- ：管理道路は舗装し、旧川は埋め立てするという話だった。また、用地を提供したので整備を進めてほしい。
- ：その後の調査により旧川付近が軟弱地盤であることが分かったため対策が必要となり、現在対策工事を実施している。